

映画をもっと知つてもらおうと
2003年より開催している

「しまね映画塾」。

益田市を舞台に撮影された、
しまね映画塾でしか生まれない・

出会えない短編映画10本を一挙上映!!

はもちろん、現役の映画人
による講評は映画に
詳しくない方も楽しめる!!



第22回しまね映画祭クロージングイベント

しまね

Shimane Film Session 2013

映画塾 2013

作品発表

in 益田

2013.11.16 土

開場／13:00 開演／13:30

島根県芸術文化センター
「グラントワ」大ホール

入場無料

※満員の場合、入場をお断りする場合が
ございますのでご了承ください。

ナビゲーター

錦織良成（しまね映画塾塾長）

【お問合せ】

しまね映画祭実行委員会事務局（島根県民会館）

TEL.0852-22-5502

<http://www.cul-shimane.jp/eigasai/eiga-juku/>

しまね映画祭 検索





上映作品リスト

(上映の順番とは異なります)

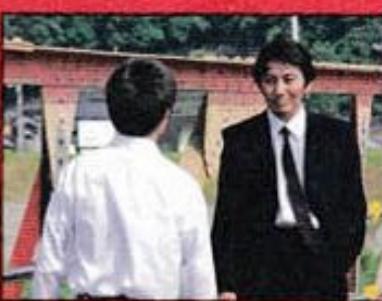


監督・脚本 / 大武 英樹
撮影 / 石川 昌義
助監督・録音 / 清水 拓太

1 約束の守り人

雄ちゃん、おぼえていますか??

定職にも付かず、毎日を無駄に過ごす雄太はある日貰い物の最中に子供の頃、迷子になったことを思い出す。それをきっかけに忘れていた祖母との思い出が徐々によみがえる。大好きだった祖母とのかけがえのない日々。そして帰っていく祖母に対する心の葛藤。やがて雄太は祖母が探していたある物の存在も思い出すことになるのだが…



監督・脚本 / 神品 拓哉
撮影 / 藤井 真
助監督・録音 / 大庭 耕平

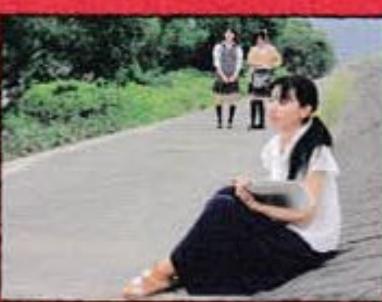


監督・脚本 / 前田 信広
撮影 / 冈田 充哲
助監督・録音 / 松本 明弘

3 絆一きずなー

「絆一きずなー」それは、育み、受け継がれていくもの…

糸操り人形の公演会で、友則は密かに想いを寄せる佳奈の前で失敗をしてしまう。祖父・貴三に特訓を申し入れ、再度挑戦した公演会で見事に成功。貴三は友則の成長を見届け安らかに…。大切に守り続けられている益田糸操り人形。地域の伝統と共に育まれる「絆一きずなー」の物語。



監督 / 山口 智宏 脚本 / 田中 友紀
撮影 / 花本 彩音
助監督・録音 / 石川 知寛



監督・脚本 / 岡本 和馬
撮影 / 大谷辰夫
助監督・録音 / 恩田 修二

5 しゅうがくりよこうへようこそ

旅の先には何があるのか?

修学旅行…それは青春のイベント。修学旅行を経験できなかった為に自分の人生が上手くいかないと嘆いている班目(まだらめ)の前に「しゅうがくりよこう」なるイベントへと導く隠の女性が現れる。彼女に導かれるようにして旅へと出発する班目なのだが…



監督・脚本 / 岩見 直子
撮影 / 妹尾 和也
助監督・録音 / 錦織 貴美子



監督・脚本 / 坂根 隆介
撮影 / 河原 久美子 助監督 / 山崎 英治
録音 / 中島 健

7 老人と川

余命を告げられたとき、残された時間をどう使いたいですか?

余命半年を告げられた悟。悟に入院するよう説得をするため、益田に帰ってきた賀太。しかし悟は頑なに今まで通りの生活をしようとする。余命半年を告げられた、悟の想いとは…



監督 / 大畠 喜彦 脚本 / 高森 純一
撮影 / 桑原 弥
助監督・録音 / 駒井 敏宏

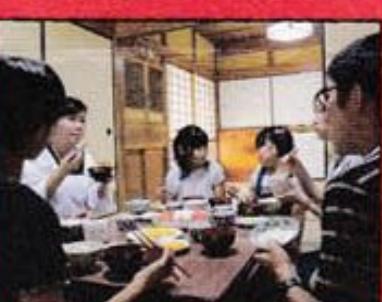


監督・脚本 / 村上 英明
撮影 / 石倉 正
助監督・録音 / 大谷 明日香

9 波路をこえて

四百年後の今も佐渡島に生きている石見の国。の真実。

今から四百年の昔。石見の国のこと。石見銀山奉行・大久保長安は佐渡金山奉行の兼任を任じられ佐渡金山の大規模開発に着手した。それに伴い佐渡島の人口が一挙に増えて食料が不足していた。島では漁の技術が未熟で漁獲量が少なかったので、石見の国から優れた漁師たちが島へ移住することになった。その家族の想い…



監督・脚本 / 浅津 久登
撮影 / 古角 雅男
助監督・録音 / 片山 佳寿子

会場への交通アクセス

JR益田駅から約1km



メイキング・
スチール

メイキング
徳丸 修

スチール
横原 郁美

10作品全てのチームを3日間にわたり追いかけて、熱氣あふれる撮影現場の一瞬をとらえたスチール写真を会場にて一挙展示。また撮影の舞台裏を追いかけて、その空気感が伝わるメイキング映像も上映します。

2 橋の途中で

死にたいと思えば死ねる。生きたいと思っても生きられるとはかぎらない。

ある男が橋の途中から川へ飛び降り自殺しようとする。それが一番苦痛がないと思ったからだ。すると目の前に突然、死が姿を持って現れる。死はただ命を捨てるのを許さず、他人に譲れと言う。自殺し命を捨てようとする男と、生きることのできない者のもとへ導く死。残りわずかな命を見た男はどういう選択をするのか。

4 Blue Water

金魚が海を夢見て、何が可笑しいのよ。美術部の高校生、冴子と麻美。二人は東京から来た女性・千尋に出会う。三人で千尋の恩師の画廊を訪ねるが、すでに閉店していた。少女たちが垣間見る、大人の恋とは?

6 High School Days

大人になりきれない、すべての大人達へ。

仕事は順調。プライベートもそれなりに充実。満たされているはずの毎日だが、ふと物足りなさを感じてしまう主人公、亮介。「高校の頃の俺は、やろうと思えば何でも出来て可能性に溢れていたはずなのに。今の俺は…」。かっこいい大人とかっこ悪い大人の違いは何なのか?もがき続ける40歳の青春ストーリー!

8 神楽な日々に

不安と戸惑い、そして甘酸っぱい青春の日々。迷いながらも僕たちは歩いて行く。

神楽大会が近づき、毎日練習に明け暮れる神楽坂昇。そんなある日、かつての幼なじみ益村菜月が、この村に帰ってくる。しかし成長した二人は保育園で遊んだ頃の二人ではない。将来の進路、家庭の問題など悩みは尽きない。神楽囃子が聞える山里を舞台に、繰り広げられる二人の青春グラフィティ。

10 我が家に嫁が来た!

あれれ?お父さんどうしたの…

年老いた老夫婦。そんな2人の唯一の悩みは、一人息子に嫁さんがないということ。それを思うと息子が不懶で死んでも死にされないと悩んでいる。そんなド田舎の農家に嫁が来た。しかも子連れで…。

■主催:しまね映画祭実行委員会
■共催:島根県文化団体連合会

■助成:しまね文化ファンド・芸術文化振興基金・公益財団法人ごうざん島根文化振興財団

■協力:益田市・益田商工会議所・益田商工会議所青年部・益田商工会議所女性会・公益財団法人しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場)・山陰中央新報社・島根県興行生活衛生同業組合・日本映画俳優協会・山陰中央テレビ・TSKエンタープライズ・エフエム山陰

■協賛:朝日新聞松江総局・毎日新聞松江支局・読売新聞松江支局・産經新聞松江支局・日本経済新聞社松江支局・中国新聞社・新日本海新聞社松江支社・島根日日新聞社・共同通信社松江支局・時事通信社松江支局・NHK松江放送局・BSS山陰放送・日本海テレビ・島根県ケーブルテレビ協議会・島根県公立文化施設協議会・しまねミュージアム協議会



しまね文化
ファンド

助成事業



こうざん
島根文化振興財団
助成事業

WOWOW